



平成28年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年12月2日 東

上場会社名 株式会社東京楽天地 上場取引所  
 コード番号 8842 URL <http://www.rakutenchi.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山田啓三  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 岡村 一 (TEL) 03(3631)5195  
 四半期報告書提出予定日 平成27年12月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年1月期第3四半期の連結業績(平成27年2月1日～平成27年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年1月期第3四半期	6,820	△0.5	1,207	6.1	1,308	10.8	802	10.1
27年1月期第3四半期	6,851	△2.0	1,137	14.5	1,181	7.0	728	34.8

(注) 包括利益 28年1月期第3四半期 1,352百万円(22.1%) 27年1月期第3四半期 1,107百万円(30.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
28年1月期第3四半期	円 銭 13.41	円 銭 —
27年1月期第3四半期	円 銭 12.17	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
28年1月期第3四半期	百万円 42,996	百万円 28,425	% 66.1	円 銭 475.08
27年1月期	百万円 35,239	百万円 27,434	% 77.9	円 銭 458.48

(参考) 自己資本 28年1月期第3四半期 28,425百万円 27年1月期 27,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年1月期	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 6.00
28年1月期	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
28年1月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 3.00	円 銭 6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年1月期の連結業績予想(平成27年2月1日～平成28年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	9,350	2.3	950	△35.3	1,050	△32.3	700	△28.2	11.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年1月期3Q	65,112,187株	27年1月期	65,112,187株
28年1月期3Q	5,279,660株	27年1月期	5,274,835株
28年1月期3Q	59,835,268株	27年1月期3Q	59,841,269株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の四半期レビューは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融緩和政策を背景に、企業収益や雇用情勢は改善傾向にあり、個人消費も底堅い動きになるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、物価の上昇や海外経済の下振れリスクなどにより、先行きは不透明な状態で推移いたしました。

このような状況下にあって、売上高は6,820百万円と前年同四半期に比べ30百万円(0.5%)の減収となり、営業利益は1,207百万円と前年同四半期に比べ69百万円(6.1%)の増益、経常利益は1,308百万円と前年同四半期に比べ127百万円(10.8%)の増益、四半期純利益は802百万円と前年同四半期に比べ73百万円(10.1%)の増益となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

#### (不動産賃貸関連事業)

不動産賃貸事業では、既存テナントに対してはきめ細かな対応を行うとともに、退店スペースに対しても積極的なリノベーション活動を実施し、売上高は前年同四半期並みとなりました。

ビルメンテナンス事業では、意欲的な営業活動に努め、墨田区内の大型案件や官公庁案件を落札したことなどから、前年同四半期を上回りました。

以上の結果、不動産賃貸関連事業の売上高は3,816百万円と前年同四半期に比べ19百万円(0.5%)の増収、セグメント利益は1,888百万円と前年同四半期に比べ90百万円(5.1%)の増益となりました。

#### (娯楽サービス関連事業)

映画興行事業では、「ジュラシック・ワールド」「パケモノの子」「シンデレラ」等の作品が好稼働し、前年同四半期を上回りました。

温浴事業では、「天然温泉 楽天地スパ」および「楽天地天然温泉 法典の湯」は身近なレジャーとして引き続きお客様の支持をいただき、各種イベントを積極的に実施したこともあり、前年同四半期を上回りました。

フットサル事業では、「楽天地フットサルコート錦糸町」および「楽天地フットサルコート調布」とともに昨年の降雪の影響がなくなりましたが、錦糸町地区においては近隣競合店の存在感が高まってきたことなどもあり、前年同四半期を下回りました。

以上の結果、娯楽サービス関連事業の売上高は2,308百万円と前年同四半期に比べ55百万円(2.5%)の増収、セグメント利益は230百万円と前年同四半期に比べ43百万円(23.1%)の増益となりました。

#### (飲食その他事業)

飲食事業では、本年1月に「エクセルシオールカフェ船橋駅南口店」を閉店し、「ドトールコーヒーショップシャポー本八幡店」が建物の耐震工事のため9月30日で約1年間の休業に入ったこともあり、前年同四半期を下回りました。なお、「ドトールコーヒーショップ本八幡南口店」は、お客様のニーズに合わせて一人席の増設や完全分煙などの工事を行い、9月17日にリニューアルオープンし好調に推移しております。

その他の事業では、ダービービル売店におきましては、ウイNZ来館者減少の影響を受け、前年同四半期を下回りました。

以上の結果、飲食その他事業の売上高は696百万円と前年同四半期に比べ105百万円(13.1%)の減収、セグメント利益は33百万円と前年同四半期に比べ29百万円(46.3%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は42,996百万円と前連結会計年度末に比べ7,757百万円の増加となりました。これは主として、借入れの実施により現金及び預金が増加したこと、浅草事業場の建築工事代金を建設仮勘定に計上したこと、および株価の上昇により投資有価証券が増加したことによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は14,571百万円と前連結会計年度末に比べ6,766百万円の増加となりました。これは主として、浅草事業場の建築工事代金の支払いに充てるため借入れを実施したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は28,425百万円と前連結会計年度末に比べ990百万円の増加となりました。これは主として、四半期純利益を計上したこと、その他有価証券評価差額金が増加したこと、および配当金を支払ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年9月9日発表の数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,437,396	7,695,442
売掛金	227,797	230,729
有価証券	100,000	100,000
その他	200,168	214,898
貸倒引当金	△160	△57
流動資産合計	1,965,201	8,241,014
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,216,599	14,588,626
土地	5,653,575	5,653,575
建設仮勘定	5,504,469	6,736,668
その他(純額)	207,209	202,160
有形固定資産合計	26,581,853	27,181,031
無形固定資産	302,407	357,237
投資その他の資産		
投資有価証券	5,686,113	6,514,205
その他	703,791	703,426
投資その他の資産合計	6,389,904	7,217,632
固定資産合計	33,274,165	34,755,901
資産合計	35,239,366	42,996,915

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	322,888	331,703
1年内返済予定の長期借入金	—	990,000
未払法人税等	419,384	254,486
賞与引当金	43,849	100,026
その他	1,558,555	1,421,815
流動負債合計	2,344,676	3,098,030
固定負債		
長期借入金	—	5,927,500
役員退職慰労引当金	84,415	100,361
退職給付に係る負債	589,243	574,036
資産除去債務	513,949	526,495
受入保証金	3,807,598	3,724,883
その他	465,355	620,564
固定負債合計	5,460,560	11,473,841
負債合計	7,805,237	14,571,872
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,046,035	3,046,035
資本剰余金	3,378,537	3,378,537
利益剰余金	21,658,953	22,102,233
自己株式	△1,981,213	△1,983,579
株主資本合計	26,102,312	26,543,226
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,331,817	1,881,816
その他の包括利益累計額合計	1,331,817	1,881,816
純資産合計	27,434,129	28,425,043
負債純資産合計	35,239,366	42,996,915

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)
売上高	6,851,862	6,820,986
売上原価	4,831,903	4,694,109
売上総利益	2,019,958	2,126,876
一般管理費	882,582	919,706
営業利益	1,137,376	1,207,170
営業外収益		
受取利息	1,034	405
受取配当金	22,327	29,493
持分法による投資利益	67,119	119,417
投資有価証券売却益	13,292	—
その他	8,668	7,269
営業外収益合計	112,442	156,585
営業外費用		
支払利息	39,107	34,603
固定資産除却損	16,620	17,188
その他	12,893	3,457
営業外費用合計	68,622	55,249
経常利益	1,181,196	1,308,505
税金等調整前四半期純利益	1,181,196	1,308,505
法人税等	452,709	506,208
少数株主損益調整前四半期純利益	728,486	802,297
四半期純利益	728,486	802,297

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年2月1日 至平成27年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	728,486	802,297
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	378,724	549,999
その他の包括利益合計	378,724	549,999
四半期包括利益	1,107,210	1,352,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,107,210	1,352,296
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年10月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	3,797,115	2,252,859	801,887	6,851,862	—	6,851,862
セグメント間の内部 売上高または振替高	313,729	1,121	375	315,226	△315,226	—
計	4,110,845	2,253,981	802,262	7,167,089	△315,226	6,851,862
セグメント利益	1,797,170	187,556	62,925	2,047,651	△910,275	1,137,376

(注) 1. セグメント利益の調整額△910,275千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△882,582千円、セグメント間取引消去△27,693千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年2月1日至平成27年10月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	不動産賃貸 関連事業 (千円)	娯楽サービス 関連事業 (千円)	飲食その他 事業 (千円)	計 (千円)		
売上高						
外部顧客への売上高	3,816,328	2,308,175	696,482	6,820,986	—	6,820,986
セグメント間の内部 売上高または振替高	293,405	1,016	409	294,830	△294,830	—
計	4,109,733	2,309,191	696,892	7,115,817	△294,830	6,820,986
セグメント利益	1,888,001	230,815	33,764	2,152,581	△945,411	1,207,170

(注) 1. セグメント利益の調整額△945,411千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△919,706千円、セグメント間取引消去△25,705千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。